



2013年2月14日

英文報道発表資料抄訳

## 次世代ODB++インテリジェントデータ形式を発表、 改良モデリングによりDFM、製造、組立て、検査に対応

米オレゴン州ウィルソンビル発 – 基板製造、実装メーカーと設計者を対象としたODB++フォーマットのオープンなフォーラムであるODB++ Solutions Alliance (ODB++ソリューションズ・アライアンス)は、プリント基板(PCB)設計データを製造、組立て、検査工程に受け渡すためのインテリジェントで単一データ構造であるODB++フォーマットを大幅に拡張した次世代データ形式を発表しました。世界各地の実績ある何千ものユーザからの要請に応える形で追加された今回の新機能と機能拡張を活用することで、PCB設計者と実装メーカーは、NPI(新製品導入)、DFM(製造性考慮設計)、CAM(コンピュータ支援製造)の各種ソフトウェアへのデータ手入力を最小限に抑えることが可能になります。今回の改良によって、一層の時間短縮と手入力による作業ミスのさらなる削減を図ることができるだけでなく、非常に高いレベルの自動化を通じてユーザの生産性をより向上させます。

PCB設計／製造テクノロジーに対する非常に厳しいニーズを満たすオープンなODB++フォーマットは、日々世界中の幾多のPCBエンジニアによって活用されており、業界をリードするすべてのCAD/CAMソフトウェア・ベンダがそのデータ・インタフェースを提供しています。実証済みのODB++は、部門間のコミュニケーションとデータ共有を行うための設計と製造間をつなぐより優れた利用方法を提供し、Gerber、Excellon、ネットリスト、部品配置データや描画データなどの設計が本来有するデータと比べ、情報の量、質の点でレベルが低い従来型のデータを置き換えます。

PCB製品のソフトウェア・モデルに組み込まれたインテリジェントなデータに基づいて最大級に自動化されたCAD/CAMでODB++フォーマットを使用すると、NPIのPCB製造および組立てのサイクル時間とコストを削減し、サプライチェーンのリスクを低減させます。

新しいODB++フォーマットに含まれる主な機能は以下の通りです。

- PCB 構造面の拡張
  - フレックス PCB 構造とフレックスリジッド PCB 構造の明示的なモデリングの自動化
  - 人的ミスを減らすため、多層 PCB のビルドアップ情報を製品モデルに格納。ビルドアップ情報は、部材の選定プロセスやスタックアップの検証プロセスで直接参照可能
  - メートル単位に完全対応

- 埋め込みビア／ブラインドビア、バックドリル穴、直径が異なるドリル穴を正確にDFM解析するために、ドリル長を指示可能
- 機能面の改良
  - 属性範囲の拡大と合理化を行い、DFM解析、製品モデル定義、意図する製造プロセス(製造、組立て、検査、その他の情報)などを目的別に分類
  - 製造プロセスルールを満たすように、ソルダステンシルの設計開口部に必要な標準シンボルの範囲を拡大。これにより、カスタムなシンボルを収録したライブラリをユーザ独自に作成および管理の必要を排除
  - 設計から製造までのフロー全体にわたり維持できるネット名の長さの制限を排除。このため、最も複雑なPCBであっても、ODB++データを活用したネットレベルでのエンジニアリング間の効率的な作業を実現
- 組立て／検査関連の拡張
  - 構造的なテストプローブを明示的に定義。これにより、物理的検査の定義とDFT検証を設計の早期段階に行い、設計段階から製造段階に検査の意図を明確に伝達可能
  - BOM(部品表)に記載できる属性数が無制限。部品明細データはフロー全体にわたって確実に維持されるため、BOMの完全性を確保するために複数のBOMアクセスポイントを持つ必要性を最小化
  - 部品パッケージ属性を導入。DFM解析および製造プロセス準備をパッケージタイプに基づいて実行する機能により、効率的な製品モデルプロセスを実現

「ODB++ Solutions Allianceと3,000におよぶ登録メンバーにより妥当性が検証されたODB++は、PCB設計、製造、組立て業界にとって最も実績があり、サポートされているインテリジェントなデータ形式です。ODB++ Solutions Allianceのメンバーとパートナーは、付加的な手順により今回のODB++新機能と拡張を利用できるので、ODB++フローに対するこれまでの投資が無駄になることはありません。次世代ODB++はPCB設計から製造までのフロー全般にわたって適用されるため、業務プロセスを大きく変えることなく、現行のツールセットからさらなる価値を引き出すことができます。」メンター・グラフィックス、Director of Business Development for the Valor® Division、Julian Coatesは、上記のように述べています。

最新のODB++の全仕様は、[www.odb-sa.com/ja/リソース/](http://www.odb-sa.com/ja/リソース/)からダウンロードできます。OSAの詳細、パートナーリスト、参加方法などについては、[www.odb-sa.com/ja/](http://www.odb-sa.com/ja/)をご覧ください。

#### **ODB++ Solutions Allianceについて**

ODB++ Solutions Allianceは、ODB++フォーマットの実装に携わる開発者ならびに支援者が、関心のある情報や成功事例をお互いに共有するためのフォーラムです。登録メンバーは、PCB設計から製造に至るフロー全体にわたり、このフォーマットの利用体験や実装のベストプラクティスなどの情報、ODB++に関するアドバイスやアイデアを交換できます。

ODB++ Solutions Allianceの全体的な目標は、現在、Time-to-market、コスト、そしてサプライチェーンのリスクの削減をもたらしているODB++形式の成果に対する認識をより高めていくこと。多数の設計者と製造業者が導入拡大に踏み切り、PCB技術者コミュニティからの有益な情報を最大限に活用できるような体制を整備すること。そして、技術の発展と足並みを揃えて、データ形式ならびに実装手法をさらに進化させることです。詳細については、[www.odb-sa.com/ja/](http://www.odb-sa.com/ja/)をご覧ください。

記載されている製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

###

本件に関する問い合わせ先

メンター・グラフィックス・ジャパン株式会社

マーケティング部

エリソン 有理

TEL: 03-5488-3035 FAX: 03-5488-3032

Email: [yuri\\_ellison@mentor.com](mailto:yuri_ellison@mentor.com)